みつば会通信

2017年
6月
第22号

みつば会

長崎県在宅保健事業みつば会

✿　長崎県在宅保健事業みつば会会長　　木下　美智子（保健師）　✿

みつば会会長に就任して１年になります。一会員だったころより、みつば会の動きや役割の大切さ、国保連合会のバックアップの大きさに驚いているところです。平成２８年の事業は総会で示したように役員会６回、長崎・島原・佐世保の３地区でそれぞれ研修・話し合いをしております。

２８年度は、ねんりんピックでの健康コーナーの支援がありました。骨量測定や脳年齢チェックのコーナーなどがあり、３日間で約８８７人の指導や支援を行いました。

市町支援事業としては、健康づくり出前講座６回、健康劇３回、サロンへの支援を５回実施いたしました。いずれも入念に準備しての支援です。上記のような支援をする上でどうしても研修等が必要になってきます。その研修にも国保連合会の大きな支援を頂いています。

また、都道府県在宅保健師等全国連絡会に参加させていただきました。連絡会の中では香川県の「オリーブの会」が学校教育の中に入り、学校教諭と共に「がん教育」についてお話ししておられました。島根県の「ボタンの会」は、災害時の在宅としての役割を果たしていました。これらの活動内容は、長崎県在宅保健事業みつば会の活動として参考になると感じています

私たちみつば会は保健師・看護師・栄養士・歯科衛生士の４職種の集まりです。４職種の強みを活かしてこれからも活動していきたいと考えております。

✿　長崎県国保連合会事務局長　　近藤　成明　✿

長崎県在宅保健事業みつば会の皆様におかれましては、日頃から豊富な知識と経験を活かし、地域住民の健康保持増進のためにご尽力いただいておりますことに、改めて敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

さて平成２８年度は、みつば会活動の新しい取り組みとして紙芝居の作成を行いました。会員の皆様が知恵や特技を活かしてブロック毎に作成した３つの紙芝居は、平成２９年度１０月から早速、保険者の保健事業支援として実施する運びとなりました。

今後もますます皆様の専門職としての能力を発揮し、地域住民と一緒になって楽しみながら、地域の健康づくりを支えていただきたいと思います。

末尾となりますが、皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして私の挨拶といたします。

平成２８年度　みつば会総会・研修会

平成２９年３月３日（金）　１０時～１１時　総会
１１時～１４時　研修会（１２時～１３時　休憩）
於：長崎県市町村会館

森　夏實　（保健師）

ひな祭りの日、３３名の出席があり、２８年度総会・研修会が開かれました。
総会は滞りなく進み、報告と議決事項が承認されました。
事務連絡では、２０年誌編集と内容募集が行われ、また連合会より報償等の変更について説明がありました。
研修会では、初の試みとして、会員によるみつば会活動の紹介があり、熱演に笑いと励ましが寄せられました。
大分研修に学んだ紙芝居の発表は、グループワークでも活発な意見がかわされ、もっと討論の機会と時間が欲しい様子でした。
南島原市作成の布製パネルの見事さ、小値賀町の小学生からの感想文も熱心に見入って話し合う会員が多く見られました。

平成２９年度　　新 役 員

役　職	氏　名	職　種
会　長	木下　美智子	保　健　師
副　会　長	森　夏　實	保　健　師
副　会　長	松本　妙子	管理栄養士
書　記	山本美保子	歯科衛生士
書　記	原口りえ子	看　護　師
幹　事	伊藤洋子	管理栄養士
幹　事	飛永恭子	歯科衛生士
幹　事	明星みどり	看　護　師
顧　問	中村　信	保　健　師
顧　問	濱邊惠子	管理栄養士

みつば会会員集合写真

平成28年度で定年退職された長濱課長より一言いただきました

みつば会のみなさん、長い間大変お世話になりました。
みつば会として紙芝居での支援が初めて行われることを楽しみにしています。
これからも身体に気を付けて、楽しく活動され、みつば会が益々発展することを願っております。

長濱　伊代子

Ｈ２９年３月３日撮影

平成２８年度で定年を迎えられ、退職された長濱課長さまと、
めったに撮れない会員との集合写真となりました。

平成２８年度　みつば会活動報告

月	会議等名称	開催場所
4	第１回みつば会役員会 ブロック別研修会佐世保地区第１回	国保会館 佐世保市歯科医師会館
5	ブロック別研修会長崎地区第１回	国保会館
6	みつば会通信２１号　発刊 第２回みつば会役員会 ブロック別研修会島原地区第１回 大分県在宅保健師等「虹の会」視察	 国保会館 森山公民館 大分県
7	平成２８年度みつば会研修会	国保会館
9	第３回みつば会役員会 ブロック別研修会長崎地区第２回 ブロック別研修会島原地区第２回	国保会館 国保会館 森山公民館
１０	ねんりんピック長崎２０１６ ブロック別研修会佐世保地区第２回	長崎県立総合体育館 佐世保市歯科医師会館
１１	第２１回長崎県国保地域医療学会 ブロック別研修会島原地区第３回 第４回みつば会役員会	諫早文化会館 森山公民館 国保会館
平成２９年		
1	第５回みつば会役員会 ブロック別研修会島原地区第４回	国保会館 森山公民館
2	都道府県在宅保健師等全国連絡会（会長参加） 第６回みつば会役員会	全国都市会館（東京都） 国保会館
3	平成２８年度みつば会総会・研修会	長崎県市町村会館

平成２８年度　都道府県在宅保健師等全国連絡会報告

平成２９年２月３日（金）１０時～１６時
国民健康保険中央会主催（東京都）
会長　木下美智子（保健師）

標記研修会に出席しましたので、報告いたします。

内容は、保健事業を取り巻く国の動きについての説明、東京大学高齢社会総合研究機構教授の飯島勝矢氏より「市民のための市民の手によるフレイル予防」についての講演がありました。フレイルサポーター養成の第一人者である先生の話を直に聞け、とても勉強になりました。

また、事例発表として島根県と香川県の取り組みが紹介され、災害時や癌教育等、私たちみつば会のこれからの活動を考える良い機会となりました。

平成２８年度　市町支援事業報告

平成28年度　長崎県在宅保健事業みつば会による市町支援事業状況

支援保険者数：7市町、支援回数：14回、支援者延べ26人

事業名		市町	内容	対象者	参加人数	実施日	支援時間	場所	支援者
健康づくり出前講座	1	佐々町	歯科衛生士による歯科指導（生活習慣病とおくちの健康・正しいブラッシングの実技）	食生活改善推進員	28名	6月29日	9:30～10:30	健康相談センター	歯科衛生士 下濱　佐都美
	2	佐々町	歯科衛生士による歯科指導（生活習慣病とおくちの健康・正しいブラッシングの実技）	食生活改善推進員	20名	6月30日	9:30～10:30	健康相談センター	歯科衛生士 下濱　佐都美
	3	佐世保市	歯科衛生士による講話と実技（歯周病と糖尿病の関係・正しいブラッシング方法指導等）	老人会会員東部地区の会員	150名	8月24日	13:30～14:30	早岐支所 早岐地区公民館	歯科衛生士 下濱　佐都美
	4	小値賀町	栄養バランス	小学3年生	13名	11月21日	11:35～12:20	小値賀小学校	栄養士 峰　久代
	5	小値賀町	歯科衛生士による講話（歯周病について）	小学6年生	9名	11月25日	11:35～12:20	小値賀小学校	歯科衛生士 久松　美也子
	6	小値賀町	栄養バランスを考えた食生活 食中毒について	中学1年生	13名	2月17日	11:30～12:20	小値賀中学校	管理栄養士 松本　裕子
健康劇	7	波佐見町	「なんば食べる？」 ～食事バランスの大切さ～	食生活改善推進員養成講座受講者	14名	7月7日	19:00～19:50	総合文化会館	栄養士 岡　清子 歯科衛生士 初瀬　しず子 歯科衛生士 山口　方子
	8	平戸市	「どうして健診を受けるの？」 ～健診受診勧奨～	健康づくり推進員	24名	8月23日	13:30～14:30	福祉保健センター	保健師 木下　美智子 看護師 明星　みどり 栄養士 松平　益美 看護師 吉田　二美
	9	平戸市	「どうして健診を受けるの？」 ～健診受診勧奨～	健康づくり推進員	35名	8月30日	13:30～14:30	ふれあいセンター中部公民館	歯科衛生士 初瀬　しず子 歯科衛生士 山口　方子 看護師 下川　美登里
サロン	10	東彼杵町	食中毒予防について	一般高齢者及び二次予防対象高齢者（平均年齢80歳代、難聴あり）	22名	6月10日	13:30～14:50	総合会館和室1階	保健師 三宅　美恵子 管理栄養士 平野　清美
	11	東彼杵町	体を動かして脳活性化		20名	10月18日			管理栄養士 堤　貴美子 栄養士 松平　益美
	12	東彼杵町	高齢者の肺炎予防について		21名	3月16日			保健師 犬塚　恵子 歯科衛生士 山口　方子
	13	川棚町	身体や脳を使った介護予防活動	二次予防事業対象高齢者	16名	10月11日	13:30～14:30	石木公民館	保健師 三宅　美恵子 管理栄養士 濱邊　恵子
	14	川棚町			23名	10月27日		いきがいセンター	保健師 三宅　美恵子 管理栄養士 濱邊　恵子

平成２８年度ブロック別研修会報告

≪長崎ブロック≫　　伊藤　洋子（管理栄養士）

長崎地区では平成２８年５月２０日および９月１５日の２回、国保会館にてブロック別研修会として「なして健診受けんばと」の題で、紙芝居づくりを行いました。二日とも出席人数は少なかったのですが、絵を描くのが得意な人がその技を活かし、また色塗りも分担して和気あいあいと楽しくすすめることができました。平成２９年度からは、実際に紙芝居を活用していきながら改善し、より分かりやすい紙芝居にしていきたいと思います。

≪島原ブロック≫　　吉田　二美（看護師）

～「ヤスさんのかんころもち」の紙芝居を作って～

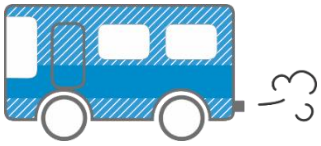
平成２８年度のみつば会の主な目標は、各ブロックで紙芝居を作ってみようということでした。市町支援に行く時、紙芝居なら少人数で実施できるし皆で共有できて、一度作れば大がかりな前準備や練習など特にいらないということで取り組みました。大村・諫早・島原ブロックは「認知症について」取り組みました。毎回１３～１４名の会員が６月、９月、１１月、翌年の１月の４回森山町公民館に集まりました。同じ目的で作業しましたので気心も知れて打ち解け、仲よくなりました。
近くのおいしいうどん屋で色々話し合ったことも楽しかったです。
保健師は島原方面の方が多く熱心な方ばかりで有難く思いました。ただ、初めは果たしてうまく出来るのか本当に心配でした。
資料集めから始まり、情報交換、台本書き、読み合わせ、絵の下書き、構成、認知症の理解や対処法のまとめなど色々決めていきました。
特に絵はすごく上手な栄養士がおられて一人で仕上げてくださいました。３月の総会で発表し、まだ改善するところもありますが、一応出来ましたので一安心しているところです。
各職種で協力して紙芝居を作製することができ、達成感を味わいました。ご協力いただき心より感謝申し上げます。

≪佐世保ブロック≫　　山本　美保子（歯科衛生士）

佐世保ブロックは、歯科衛生士会員が多く、栄養士は２名、平戸から看護師が１名という参加で始まりました。会員歴は長くても交流があまりなかったので、最初は顔合わせから始まり、自己紹介などをしながら徐々に意見交換も活発になっていきました。

２回目以降は集まりやすい市内の会員が集まるようになりましたが、いつも話に花が咲き、実際の作業は追い込みとなりました。しかし紙芝居の内容についても理解しあいながら時間をかけて取組みましたので、いざ下絵・本描きの段階からはスムーズでした。絵のうまい方に最後はお任せすることになりましたが、使わせてもらう会員も内容をよく理解しているので、スムーズに使えそうです。先日の総会での完成披露発表で、他会員からの意見もいただけたので、２９年度にはさらに手直しなどしながら支援事業で活用できるように仕上げたいと思います。

大分県虹の会　視察報告



「大分県在宅保健師等虹の会視察報告」

伊藤　洋子（管理栄養士）

平成２８年６月３０日～７月１日、役員７名と連合会職員３名で、大分県「虹の会」との交流研修会に参加しました。研修会では「虹の会」のブロック活動のひとつとして認知症についての寸劇の報告がありました。寸劇の種類も多く、行政や医療機関、包括との連携がうまくいっており、うらやましくもありました。

紙芝居の作成プロセスについても学んできました。認知症についての学習会・作成・使用と３年計画で進め、現在は使用しながら改善点や活用場所等の見直しを図っている段階だそうです。紙もきれいで方言を使って親しみやすく作られていました。

その後、大分県立看護科学大学の川崎涼子先生に「コミュニティを大切にする気持ちは世界共通」という演題で講演していただきました。ブラジル国アマゾナス州のコミュニティヘルスワーカー（地域に密着して住民と保健医療サービスを繋げる人々）の活動について、人と人を繋ぐコミュニケーションの大切さ、普遍性についての話でした。

情報交換では支援事業やブロック別の活動、会費や研修会など多岐にわたって報告しあいました。私が一番良いなと思ったのは、大分県立大学との連携です。若い方との交流で新しい知識を得、将来の会員増にもつながるのではないかと思いました。

場所を変えての意見交換会では同じ在宅の会員、専門職種で初めての方とも親しくお話しできました。初めての参加でしたがいろいろな事を学び、考えさせられた実りのある視察研修でした。

「虹の会」の
みなさんと楽しく
健康ダンス！

平成２８年度　市町支援事業報告

◎平戸市市町保健事業支援事業

松平　益美（栄養士）

平成２８年８月２３日（火）平戸市の「どうして健診を受けるの？～健診受診勧奨～」の題名の健康劇での支援に参加させていただきました。会場の田平は結構遠くて早朝から出かけ、途中の道の駅では最後のセリフ合わせで気持ちをいれながら、健康づくり推進員２４名の前で実施。ちょくちょくアドリブを交えながら熱心に観ていただき、頑張って練習した甲斐がありました。難しい内容なので、目でも勉強していただけるよう模造紙に、健診内容、受けるときの順番等、数枚貼って同時進行を試みました。

その後「長生きサンバ」の曲を流し会場全員で軽い踊り（リズム感覚、軽体操）を楽しみ、スムーズに終わることができました。

寸劇は初めてだったので緊張もありましたが啓蒙活動として大変意義のある支援事業だと感じました。

◎川棚町高齢者健康事業

第１会場：2016.10.11（川棚町石木公民館）
第２会場：　2016.10.27（川棚町いきがいセンター）
濱邊　恵子（管理栄養士）

「身体や脳を使った介護予防活動」との内容依頼で保健師の三宅美恵子さんと参加しました。

身近にあり、子供の頃の遊びを思い出して皆で楽しむものとして、①折り紙でコマを折る②毛糸を輪にして「あやとり」を楽しむ　③小石を活用した「おはじき」など手指を使ったり考えたりするものを準備しました。時間は１時間です。

参加者は、石木公民館１７名（男性１名・女性１６名）、いきがいセンター２３名（男性４名・女性１９名、最高年齢９６歳・平均年齢８６歳・９０歳以上６名）の介護保険を利用していない人たちです。両サロンともはじめに皆さんが「上を向いて歩こう」の替え歌でサロンの歌を歌って歓迎して下さいました。

次に三宅保健師が「みつば会」の紹介をして、活動に入りました。折り紙は一人３枚用意し、折り方を説明するとお互いに教え合い、みんな真剣に上手に折り、出来あがったコマを廻して楽しんでいました。あやとりはやり方を忘れた人も試行錯誤しながら思い出し「ほうき」や「川」などを作ったり、二人で交互に取りあう「二人あやとり」などを楽しんでいました。小石のおはじきは小袋に入った一人 20 個の小石を使い、掌に載せたり上に放りあげたものを片手でつ

かんだり、遊び方の説明を受けて自分たちで工夫して楽しんでいました。男性も女性も楽しそうで、又折り紙は出来ないと言っていた人も笑顔で折っていました。初めは緊張していた人もだんだんと笑い声が出て、和やかな雰囲気になっていきました。みんなで協力してお互いに教え合い、楽しい時を過ごす様子は素晴らしいと思いました。子供の時の遊びを思い出し、それを子供や孫に伝えることが出来ればと思います。

このサロンはタクシーでの送迎があり、会場には野菜や果物などの出店も来て買い物も出来、皆さん毎週楽しみに参加されているとのことでした。仲間がいて楽しい一日を過ごせるこのようなサロンは、元気で自立した生活を送るための素晴らしい取り組みだと思いました。

◎波佐見町支援報告

健康劇「なんば食べる？～食事バランスの大切さ～」

岡　清子（栄養士）

７月７日「波佐見町食生活改善推進員養成講座」において健康劇「何ば食べる？」を実施しました。

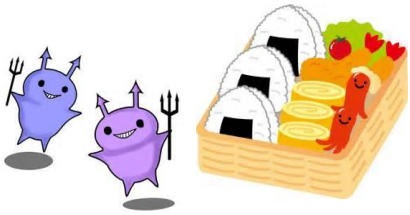
生活習慣や食生活が時代とともに変化し食事にも注意が必要となった現代、脂質異常症や糖尿病を予防するアドバイスとして、カロリーを落とす工夫や調理のポイント、アイスには豆腐を利用することなど紹介。

今回歯科衛生士の初瀬さん、山口さんと同行しての健康劇でした。お二人のテンポの良い会話に会場も笑いでいっぱい。小道具も持参したお二人には脱帽。参加者も、歯科衛生士さんの話がテンポ良くて面白かったとの賞賛。歯の健康が、体の健康にも影響を与えると初めて知りました。普段、話を聞くことが少ないので勉強になったとのお礼のお手紙もいただきました。

食事による健康は、口からしっかり食べることができて始まるもの。口が健全であってこそ、楽しく食べて健やかにお過ごしいただけるものと思います。

栄養面だけでなく、お口の健康講話が同時にできる「みつば会」のすばらしさだと再確認。先輩お二人に感謝、感謝の七夕でした。

◎東彼杵町サロンでの支援事業報告



「食中毒予防について」

三宅　恵美子（保健師）

平成２８年６月１０日　東彼杵町総合会館　和室研修室にて行われている「高齢者健診事業」の支援に管理栄養士の平野さんと二人で行かせていただきました。対象者は一般高齢者および二次予防高齢者２２名で、各自昼食のあと、おしゃべりしながらくつろいでおられる中に私たちも入りいろいろお話を聞かせていただき、またスタッフの人にも話を聞き、午後の事業に入りました。まずみつば会の説明をして本日のテーマである「食中毒の予防について」の講話を行いました。途中で寸劇をして（買い物の帰りに知り合いに会い立ち話をしている状況後、家に帰ってから食材の処理や温度管理の大切なことなどつぶやきながら行っている、という設定で構成）高齢者が食中毒になりやすい理由、それを防ぐには何に気をつけなければいけないか、手洗いの仕方など話をしてから自分が作った料理をおすそ分けするときに気をつけること、食べきれなかったおかずなどの保存の仕方などお互いに話し合いました。

二人での打ち合わせは電話や会場へ行く車の中で行い、管理栄養士の平野さんにほとんどお任せしてしまい申し訳ないと思いながらも無事終えることができました。帰りに参加者の方から、「よくわかりました」と声をかけていただき、気持ちよく帰ることができました

◎小値賀町支援事業

「歯周病について」

久松　美也子（歯科衛生士）

平成２８年１１月２５日小値賀小学校に「歯周病について」の講話に行って来ました。

事前の電話での打ち合わせの時に保健師さんに「歯周病」だけの講話より「ブラッシング指導」もやった方がよいのではと相談して指導する事にしました。

当日は小学校に着くと養護教諭の方より６年生９名の口腔内の状態について説明があり、６年生の保健体育の授業で「歯周病」について学びますというお話がありました。

分かりやすいようにホワイトボードに歯周病の進行度のパネル４枚を立てました。資料としてメーカーから取り寄せたパンフレットを利用して話を進めました。

ブラッシング指導は各自使用している歯ブラシを用意して貰っていたので、選び方、交換時期、他の清掃道具について説明を行いました。模型を使い歯ブラシの当て方、動かし方、フロスの使い方などの指導を行いました。染め出しを使い、実際に磨き残しを見てもらいたかったのですが、「今回は染め出し無しで」と言われたのが残念でした。

口腔内細菌がカリエス、歯周病だけでは無く、全身疾患に影響を及ぼしている事を知って貰い、口腔ケアの重要性を学んでもらいました。

『ねんりんピック長崎２０１６』

『ねんりんピック長崎に参加して』

明星　みどり（看護師）

第２９回全国健康福祉祭ながさき大会（ねんりんピック長崎２０１６）が『長崎で ひらけ長寿の夢・みらい』というテーマでＨ２８年１０月１５、１６、１７、１８日と長崎県各地で開催されました。

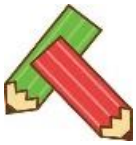
内容はもりだくさんで、いろいろなスポーツ交流、音楽・美術などの文化交流、その他のイベントとして健康福祉フェアなどがありました。

国保連合会からは４種の健康測定器が出されました。

① 血管推定年齢自動測定器（老化度チェック）
② 超音波骨量測定装置
③ 脳年齢計
④ 体組成計　です。

みつば会会員はその測定結果説明を４職種で手伝うことになりました。事前応募にもたくさんの方が希望してくださりありがとうございました。また、７月の研修会でも内容の説明など予備知識の講習もあり、勉強をして臨みましたので当日はそう不安にもならずに役目を果たすことができました。私は②の骨量測定を担当しました。予想以上の方が受けてくださり、結果を説明する時、良い結果だと、今の良い生活習慣をほめたりしました。その方々はやはり食生活に気をつけていたり、毎日ウォーキングをしたり、また家が坂の上で嫌でも歩かねばいけないとか…生活態度が前向きでした。結果が悪い方はそう多くはありませんでしたが病院での再検査をすすめたり、国保連合会が用意してくださった骨量を増やすためのパンフレットを使って説明しました。骨量など測る機会も少ないので、自分の骨のことが分かり良かったと言われていました。みつば会員として、こういう活動がまたありましたら、次もぜひ参加させていただきたいです。

平成２８年度　研修会



平成２８年７月１３日（金）
於：国保会館６階会議室　１０時～１５時

９：30　受付
９：55　オリエンテーション
10：10　報告　大分県『虹の会』視察報告　　役員
　　各支援事業報告　　会員
11：00　研修　ねんりんピック長崎２０１６における支援内容について
　　～健康器具を実際に使ってみよう～
13：00　講演　山口県在宅保健師会「鈴の会」の取り組み
　　講師　鈴の会　会長　田辺　友子　氏
　　山口県国保連合会保健事業課　保健事業相談役　笠野　操　氏

平成２８年度長崎県在宅保健事業みつば会研修会

山本美保子（歯科衛生士）

平成２８年７月１３日（水）国保会館６階で平成２８年度長崎県在宅保健事業みつば会研修会が開催されました。

午前は、役員が６月末に大分県の在宅保健師等「虹の会」を視察したときの報告がありました。

また、会員が実施した支援事業報告をいくつか（東彼杵町、波佐見町、佐々町）発表していただき、事業に参加していない会員にとっては興味深い内容でした。

その後、１０月に開催される「ねんりんピック長崎」参加協力者への、健康機器の取り扱いの説明会、試し実演などがあり、血管年齢測定、骨量測定、脳年齢測定など実際にやってみて、会員の健康チェックもでき、和気あいあい、活気にあふれる時間となりました。

その他、健康体操を看護師の明星さんより指導してもらい、息抜きを兼ねほぐれる時間も盛り込まれ、充実した午前の部でした。

昼休憩をはさんで午後は、遠路山口県より山口県在宅保健師の会「鈴の会」の会長田辺様、山口県国保連合会保健事業課保健師の笠野様をお迎えして、「鈴の会」さんの実際に使っている紙芝居を実演していただきました。笠野保健師様からは「鈴の会」さんの設立から活動内容にわたるまで聴かせていただきました

紙芝居は長年活用され、教室参加者の反応に応じて修正を加えながら完成させてきたもので、絵も温かみのある表現力豊かなもので、観させていただく方も引き込まれる仕上がりでした。

今年度より実際に長崎県も、支援事業で紙芝居を活用しようと、各ブロックで準備がすすんでおります。今回の山口県の紙芝居を参考に、さらに完成させていきたいと思いました。

役員交代のご挨拶

◎新任挨拶◎　　飛永　恭子（歯科衛生士）

お疲れさまです。歯科衛生士の飛永恭子と申します。
まだまだ、わからない事ばかりですが、どうぞ宜しくお願い致します。

◎新任挨拶◎　　原口　りえ子（看護師）

昨年みつば会に入会し、殆ど活動することなく１年が過ぎ、今年書記を仰せつかりました。
看護歴は９年と短く、ブランクも２０年あります。こんな私ですが、豊富な知識、技術、経験を活かし、地域の方々の健康保持増進の為にご活躍されておられるみつば会の皆様方とご一緒に活動させて頂けること、とても光栄に思っています。貪欲に学ばせて頂きながら、私も地域に貢献できますよう楽しみながらいきたいと思っています。
何卒ご指導の程よろしくお願い致します。

◎退任挨拶◎　　吉田　二美（看護師）

役員を「やっておいて良かった」と「やっておけば良かった」のこの二文字の差は大きいなぁと実感しています。
みつば会役員を７年間、未熟ながら務めさせていただき、皆様に心より感謝申し上げます。
お世話になりました。

◎退任挨拶◎　　山下　美年子（歯科衛生士）

お世話になりっぱなしで何も出来ない役員でした。しかし、みつば会の地域の健康増進に対する真摯な取り組みが直接感じられ、有意義な時間を持たせて頂き感謝しております。
ありがとうございました。

★編集後記★

ブロック別研修会を始めて３年目。今年度は長崎地区、佐世保地区、島原地区の３ブロック共に活動の一部である“紙芝居”がやや完成の運びとなりました。会員の皆様と共に検討して頂きたいと考えております。
３ブロックが一つの輪となり、みつば会の大きな輪に発展し、地域に密着した健康づくり事業を、皆さんで楽しみながら貢献できたらと思います。
これからもみつば会会員の皆様のご指導、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

松本　妙子（管理栄養士）

みつば会々員数

（平成 29 年6月現在）

●保　健　師	15名
●看　護　師	11名
●栄　養　士	17名
●歯科衛生士	18名
会員総数	61名

※休会除く

平成29年6月発行
みつば会通信
発行所　長崎県国民健康保険団体連合会
長崎県長崎市今博多町８番地２
TEL（095）826－7301